

近年、糖尿病性腎症の治療に対する考え方が大きく変化しています。すなわち、進行を防ぐだけでなく、寛解、退縮を目指す治療が求められています。一般に、糖尿病性腎症の病期が1段階以上戻ることを「寛解: Remission」と定義されていますが、この寛解を得るために重要な要素が「集学的治療」です。これは血糖管理、血圧管理、脂質管理をそれぞれの基準で厳格にコントロールし、レニン-アンジオテンシン系阻害薬を適切に使用することを指します。

また、糖尿病治療は患者自身の自覚・やる気が最も重要です。医師がいくら薬を増やしても患者自身が日々の行動を変えなければ結果には繋がりません。つまり、多方面から十分な教育・指導を繰り返し行うことが必要なのです。しかし忙しい日々の診療の中で一人一人に十分な教育・指導を行うのは至難の業だと思います。

そこで、当院腎臓内科からご提案させていただく新しい形の病診連携が「**YES-I-DO**」です。Yaizu, **E**arly **S**tage **I**ntervention for **D**iabetic nephropathy and **O**thers の略です。概要は別紙を御参照下さい。

原則として専用紹介状による予約制です。各種検査に加え、医師、看護師、栄養士、検査技師、薬剤師から個別に教育・指導を行う時間を設けます。当院では薬の処方や変更はせず、各医療機関の先生には検査結果の詳細、教育・指導の内容と共にコメントとして治療内容で気がついた点をお知らせいたします。

フォローは半年又は1年毎に行います。再診時、その間の治療経過を簡単にお知らせいただくための専用紹介状をご用意いただきます。

対象患者は糖尿病で微量アルブミンが出ているか、蛋白尿が出ているも1g/日程度までの方。尿蛋白定性では(±)~(2+)程度です。腎機能は原則として問いません。ただし、教育・指導が難しい認知症などの方は適さないと思われます。

専用紹介状は出来るだけ御紹介頂ける先生方の負担を減らすべくシンプルに工夫したつもりです。具体的なご要望があれば備考欄に何なりとご記入下さい。

是非とも「YES-I-DO」への積極的なご参加をお願い申し上げます。

焼津市立総合病院 腎臓内科